



滋賀大学

送信先：大津・彦根地区報道機関 全2枚

報道関係者 各位

“海のSDGs”をテーマに 「子ども統計プログラミング教室」開催

小学生にプログラミングを通じて統計データに親しんでもらうため、データサイエンス教育への取り組みの一環として「子ども統計プログラミング教室」を開催します。

本学はSDGsの趣旨に賛同し、大学全体で様々なSDGs推進活動に取り組んでいます。そこで、6回目の開催となる今回は「海のSDGs」をテーマに持続可能な漁業を題材として、海の恵みの未来を講師と一緒に考えます。海の恵みをいつまでも享受するためにはどんな漁業が考えられるのか、私たちに今できることは何なのか。MakeCode や micro : bit といった子ども向けのプログラミング素材を使用して、楽しみながら考えます。

【子ども統計プログラミング教室】

日時：2021年11月3日（水・祝） 13時30分～15時30分

場所：さざなみタウン 長浜文化福祉プラザ 会議室 1-C

（長浜市高田町 12-34 旧長浜市役所跡）

受講者：地域の小学校5・6年生

講師：町田 保 氏（リトルスタジオインク株式会社 代表取締役）

共催：びわ湖東北部地域連携協議会、長浜市

後援：長浜市教育委員会

子ども統計 プログラミング教室

2021年

日時 11月3日 水・祝 13:30～15:30

申し込み締め切り
10月20日(水)

対象 小学校5～6年生 定員 10組 (小学生+保護者) 受講料 無料

場所 さざなみタウン 長浜文化福祉プラザ 会議室 1-C
(長浜市高田町12番34号 旧市役所跡) ※会場の駐車場には限りがあります。

テーマ

海のSDGs



「海の恵みをいつまでも」をテーマにした、プログラミングワークショップです。
MakeCodeというブロックプログラミング環境を使って、
micro:bitで「サステナブル漁船」を動かします。
いつまでも漁業を続けることができ、みんないつまでも魚を食べられるために、
どんな漁業が考えられるのでしょうか？ 今、できることは何でしょうか？
海の恵みの未来を一緒に考えながら、
楽しくプログラミング体験をしましょう！

講師 町田 保氏

リトルスタジオインク (株)

代表取締役



略歴 東京大学工学系大学院卒業(修士)、情報処理安全確保支援士 ACM 会員、情報処理学会会員、統計学会会員

日本科学未来館 / GEO-COSMOS : 世界初大型球体ディスプレイの開発(ソフトウェアシステム設計、テクニカルディレクター兼プログラマー)
統計局「なるほど統計学園高等部」「データサイエンス・スクール」「Data StaRt」: 統計学習サイト(企画・構成、ディレクション)

リトルスタジオインク株式会社 概要

当社は、1983年の設立以降、こどもの成長発達に必要な学習カリキュラム、学習ソフトを開発・制作している会社です。インターネットが台頭しはじめた1990年後半から、いち早く、ウェブサイトやCD-ROMなどのデジタルコンテンツの可能性も追求してきました。幸せな未来の社会づくり、豊かな人間関係を育むことを制作の根底のポリシーとして、昨今では、こどものためのプログラミング教育や統計教育のための教材開発・ワークショップの実施にも力を入れています。

お申込みはこちら ▼

お申込
方法

滋賀大学ホームページ「子ども統計プログラミング教室(令和3年11月3日)のお申込について」
より、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。 ※応募多数の場合は抽選のうえ、受講者に連絡します。

<https://www.shiga-u.ac.jp/soc-coop-programming-school/>



主催



滋賀大学

共催



長浜市

びわ湖東北部地域連携協議会

後援

長浜市教育委員会

お問合せ：滋賀大学 産学公連携推進課

TEL: 0749-27-1141 / メール: soc-coop@biwako.shiga-u.ac.jp